

広大な処理施設を有し、 リサイクルを飛躍的に推進



長坂建設興業株式会社

(愛知県幡豆郡吉良町)

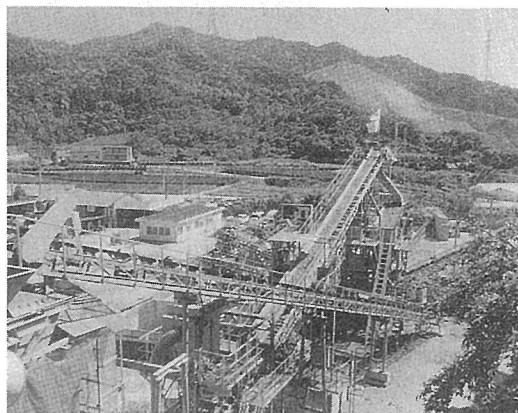
渡辺取締役工務部長

長坂建設興業は総合建設業を主体に、採石からガソリンスタンドの経営、リサイクル製品の生産から販売まで一貫して手掛けているトータル企業です。その中でもこれからの成長株としてリサイクルには特に力を注いでいるところだとか。関連施設の三河リサイクルセンター(写真)の取締役も兼任されている、本社取締役工務部長の渡辺さんをお訪ねしました。

— 創業の経緯からお話し願いますでしょうか。
渡辺取締役工務部長(以下、渡辺に略)『長坂建材として創業したのが昭和32年です。その後昭和42年に長坂建設興業株式会社に社名変更をしまして、建設廃材処理の許可を取得したのは平成5年になってからです。ですから産廃の業務としましては当社の一分野として、別の場所にある関連施設三河リサイクルセンターで一括処理をしています。当社は広大な採石場を持っていて、ニーズに応じることからその一部にリサイクルセンターを建設しました。路盤材の原料が採石から再生品に移行しつつあるということから、リサイクルセンターの稼働率も徐々に上がってきています。実は路盤材としてはセメントなどの混じった再生品の方が、バージンの採石製品より高品質になるんですよ。リサイクルセンターの敷地面積は3万平方メートルありますので、毎時80トンの処理能力で大規模な物件にも対応できます。』

— 業務を行っている中で、特に印象に残っているエピソードなどはありますか。

渡辺『実は先日、神戸の方からいわゆる震災で発生した5万トンあまりの多量の廃材を処理できないかという打診があったのですが、海上輸送という話だったんです。保健所に相談してみ



社名/長坂建設興業株式会社
所在地/愛知県幡豆郡吉良町大字上横須賀字神ノ木24 代表者/長坂茂松
創業/昭和32年 従業員/120名 TEL/0563(35)0501
事業所/本社、吉良採石工場、幸田土取場、三河リサイクルセンター
営業種別/収集運搬、中間処理 取扱物品目/建設廃材

ましたら、新たに船の収集運搬許可を取らなければいけないとのことで、コストとの兼ね合いから流れてしまいました。神戸の方も廃材の処理が県内で処理しきれていないんでしょうね。

— 長坂建設興業の社訓と申しますと。

渡辺『当社には“鬼の十訓”というものがありまして、「仕事は自ら創るべきで与えられるべきではない。」とか、「計画を持って。長期の計画を持っておれば忍耐と工夫とそして正しい努力と希望が生まれる。」といった訓示を朝礼で毎日読ませています。社員教育の一環としては、話し方教室や講座などに積極的に参加させたり、大手ゼネコンの研修会に出させたりしています。また毎年恒例で近くにある吉良上野之介緑りの華蔵寺で座禅研修を行っています。つまるところ社員教育はすべて「和」があってこそ成り立つという考え方が浸透していますね。』